

**高知県労連**

No. 182  
 発行：高知県労連書記局  
 住所：高知市丸ノ内2-1-10  
 〒780-0850 高知城ホール3階  
 [TEL]088-872-3406  
 [FAX]088-822-7969

# ～春闘特集～

## 春闘の展望と挑戦

### 安倍政権の暴走止める春闘 職場と地域を軸足に展開を

いよいよ2016年春闘がスタートします。今年の春闘では安倍政権の「2つの暴走」を止め、職場と地域を中心に戦争法廃止と大幅賃上げのうねりを作り出していきたいでしょう。16春闘で押さえるべき点をまとめました。

#### 安倍政権「2つの暴走」と「共同」

安倍政権の特徴は2つ。1つ目は、昨年9月に強行採決した安倍関連法案に見られるように、憲法の基本原則と民意を蔑ろにして、アメリカと一緒に戦争する国をつくることです。憲法違反と断罪されながらも、いつでもどこでもアメリカが求めるままに、自衛隊を地球の裏側にまで派遣しようとしています。

2つ目の特徴は、大企業や資本家の利益を最優先にし、グローバル競争国家づくりを進める点です。TPPの妥結や原発再稼働を強行し、労働法制を改悪していく姿勢には、国民の暮らしを守るという視点はまったくありません。

このような姿勢に、各分野でかつてない共同が広がっています。SEALDs（シールズ）やママの会、大学生など戦争法廃止の声が安倍政権が進める「2つの暴走」への批判へと昇華し、「安倍内閣の退陣」にまで広がりを作り出そうとしています。

す。世論は大きく変わろうとしています。

#### 暴走を止める「春闘」とは

では、安倍政権の暴走を止める「春闘」とはどういったものなのでしょうか。それは、私たち労働組合が組織的かつ個人的な力量を高め「組織の末端まで」春闘をキーワードに①生活を支える賃金や働き方、②地域を支える政策、③国の根幹である憲法について、職場と地域で議論を行い、運動に参加していくことが必要不可欠です。

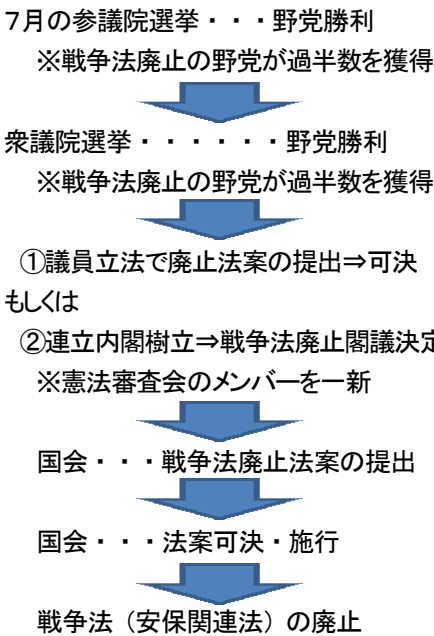
日本のあり方を転換する春闘として、労働者の枠を超えた「国民春闘」を作り出すことが求められています。

戦争法廃止の世論を作ろう！

現在、総がかり実行委員会が提起し、全国で取り組まれている戦争法廃止2000万署名を広げ、戦争法廃止の世論を作り出していきたいでしょう。県労連では、1組合員につき10筆を目標としています。この署名について職場や地域ですっきりと議論を行い、戦争法廃止の一点共同を作り出しましょう。その共同をさらに広げ、「安倍内閣打倒」の大きな共同につなげていきましょう。

国会で決められたことは、国会で覆しましょう。そのためにも、7月に行われる参議院選挙は、大きな結節点であり、16春闘でその足掛かりを築いていきましょう。

#### ◆戦争法廃止までのプロセス◆



### 針路

年明けから安倍首相の「びっくりポン」の発言が続いている。「最賃を毎年三%ずつ上げて、

時給千円にする」「同一労働同一賃金をめざす」▲ドイツの政治家ビスマルクは、きまつて人が嘘をつく3つの時を挙げている。1つ目は「狩りの後」、2つ目は「戦争の最中」、3つ目は「選挙の前」。狩りの後は分け前を有利にしようとする嘘をつき、戦争中は大本営発表で勝つた勝つたと嘘をつく。3つ目は、安倍首相の今だ▲安倍首相がやりたいことは憲法九条の明文改憲。それには長期政権、高支持率が必要。それを支えるのがアベノミクス。唯一の売りは、「田安株高」。それが黄色信号どころか赤信号。トリクルダウンは、小泉政権の時から15年、起きたことはないし気配もない。そこで、「バラマキ」が始まり、期待だけを煽る嘘が始まる▲選挙に足を運ぶ高齢者向けに1回だけ年金3万円を配る。10%に増税しておいて8%の「軽減」だど「恩を売る」。騙されてはいけない▲7月の参議院選挙は改憲が焦点。緊急事態条項は誘い水で、本命は9条2項。一挙に両院3分の2を押さえるため同日選挙に打って出る可能性も大▲参議院の高知・徳島の合区で「野党の統一候補を」の動きも大詰め。政党任せではない市民運動の盛り上がりが見える。(田)

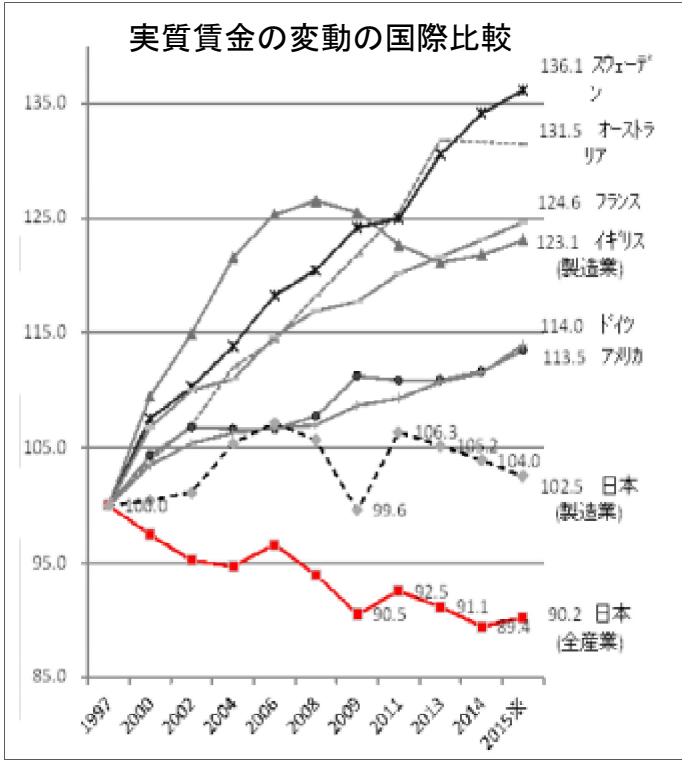
# 全組織が春闘要求提出で前進を「諦めムード」から脱却しよう！

### 異常な賃金抑制を打ち破ろう

春闘の大きな闘いは「賃金闘争」です。ただ、実態はというと、「失われた20年」や「リーマンショック」など、厳しい日本経済の中で賃上げを諦めてしまっているのが現状です。賃下げとの闘い、定期昇給の確保が春闘の中心になっている組織も多数存在します。確かに、県内経済を見回しても、景気の上昇を感じるところか、消費税増税や円安による物価上昇など、明るい話

題がないのも事実です。

しかし、私たちの「諦め」は本当に正しい感覚なのでしょうか。左のグラフは1997年を起点として、物価上昇などを配慮した実質賃金の変動を国際比較にしたものです。経団連は、「グローバル経済によって、競争相手が世界に広がったため、競争が激化し、雇用を守っていくためには、賃上げは難しい」というような姿勢を取ってきました。日本だけ実質賃金が下がっている



左グラフを見れば一目で分かるように、世界的にグローバル化が進み、競争が激化している中においても、日本以外の先進国は実質賃金が上昇しています。ヨーロッパも大打撃を受けた2008年のリーマンショック時ですら、日本以外ほとんどの国は、賃上げを行い、実質賃金も上昇しています。にもかかわらず、日本だけが1997年以降実質賃金さがり続けているのはなぜでしょうか。

**今こそ労働組合の価値が光る**

諸外国の実質賃金が上昇しているのは、日本の経営者が厳しく、外国の経営者が優しいからではありません。諸外国の多くが、産業別団体と労働組合とが交渉を行っています。それによって賃上げの際には、産業全体の賃金が底上げされるため、全体の競争力は変化しませんが、日本は、財界の大戦略によって、交渉が「個別企業化」させられてきました。また、連合の賃金自粛路線の影響も指摘せざるを得ません。

今こそ、自分たちの「会社」や自分たちの「産業」という枠組みから1歩を踏み出し、互いに連帯しながら、全組織で賃上げ要求を提出し、交渉を重ね、「官製春闘」ではなく、自分たちの手で賃上げを勝ち取っていきましょう。

## 長時間・過密労働の是正で組合活動の活性化を！

**長時間・過密労働が生活と活動を壊している**

職場では、人員が足りず長時間・過密労働が蔓延しています。仕事が終わればクタクタで、組合活動どころではないという方も多いのではないのでしょうか。16春闘では、このような状況を改善するために、私たち自身の意識改善も求められています。

**長時間労働をする日本は生産性が先進国中で最低**

日本の1時間あたりの労働生産性は2013年にはOECD加盟34カ国中20位で主要先進7カ国中で最下位となっています。長時間労働が当たり前の社会は、労働者の生活を奪うだけでなく、企業力も奪っているのです。生産性が低いものを長時間労働でカバーしているのが、現在の日本産業の構造です。

**経営者・企業を育て信頼される労働組合に**

岐阜県で電気設備資材の製造販売を行う「未来工業」は、年間休暇140日、残業禁止、すべて正社員など「日本で一番労働者にやさしい会社」と言われていますが、1度も赤字に転落したことがありません。このように、「ホワイイト企業」と呼ばれる会社も全国には多数存在しており、非正規労働者を増やし、労働者を長時間働かせることで利益を生み出す政策とは対をなす先進的な取り組みです。このような経営者を育ていくことも労働組合の役割です。

**人減らしをさせず長時間労働の是正を！**

まずは、団体交渉でしっかり長時間・過密労働の是正に取り組みしましょう。それを土台にしながら、安全衛生委員会の活動状況を見直し、その中で長時間労働是正を議題の柱に据えながら、働き方の効率化などの視点から労働組合が職場内をチカラつけていきましょう。

長時間労働の是正には、労働者と会社、双方の意識改革が必要です。企業は長時間労働や人減らしをしなければ「儲けられない」という恐怖心を持っており、それを解きほぐす提案力も必要です。

# 新たな労働組合が続々と誕生！ 地域労連も係わる総がかりの拡大

昨年は、各組織で組織拡大がおおいに取り組まれました。自治労連、医労連、自交総連、高知一般などで5つの単組・支部が誕生し、100名を超える仲間を迎え入れていきます。この拡大の特徴は、「非正規」と「地域労連も加わった総がかり」です。

自治労連では、香美市で働く非正規の保育士が、雇用の中断問題を契機に加入しました。不安定で低賃金な働き方や根拠のない雇用中断の実態に、労働者の不満と不安は高まり、労働組合の加入につながっています。同じ仕事をしていながらも関わらず、処遇がまったく異なる働き方は、「同一労働同一賃金」の原則や世界の考え方から見ても異常です。労働組合がその先頭となつて闘う姿勢に共感を得ています。

もう一つの特徴は、産業別労働組合と県労連、そして地域労連が一体となつて組織拡大に取り組んだことです。高知一般土佐食支部では、土佐清水市ということもあり、地域で組合を支える体制が必要不可欠でした。その役割を土佐清水労連が担いました。また、土佐食が第3セクターでしたので、組

合結成の際には、県労連も土佐清水市長へ挨拶を行い、友好的な労使環境の構築に言及しました。このように、主体の産業別労働組合の取り組みプラス、県労連や地域労連の良さを最大限活用しながら労働組合を守り、大きくしていく、まさに「総がかり」の拡大を行い、6つもの組合・支部の結成に至りました。

## 非正規の均等待遇を実現するため

## 高知の会が交流会を実施！

16春闘では、非正規労働者の処遇改善、均等待遇の実現、雇用の安定化を組合要求の1つの柱に据える方針です。

非正規労働者の置かれる立場は大変不安定な状況です。同じ仕事をしながら、賃金な安い非正規労働者の殊遇を改善しなければ、正規職員の賃上げなどできるはずがありません。

「非正規の会」では、各組織の賃金、手当、休暇、雇用形態などの実態を調査し、交流を行い、正規も非正規も一体となつた春闘を進めます。

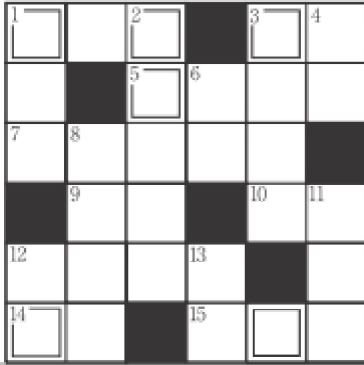
ぜひご参加ください。

## こんな社会どっか狂ってる！

【日時】 2月26日(金)18:30～  
【場所】 県民文化4F多目的室

## 労働相談センター通信 2月号

2015年(1月～12月)は、266件(複数相談を含む)の相談が寄せられました。性別では女性116人、男性121人でした。雇用形態は、正規雇用120人、非正規雇用56人、不明61人でした。相談内容は、解雇・雇止48件、賃金・残業代未払い48件、セクハラ・パワハラ38件、長時間労働・年休取得31件、労働契約違反24件、社会・雇用保険未加入21件、労災18件、労働条件切り下げ6件、配置転換4件、その他(金銭トラブル、生活相談など)18件、労働組合結成・加入をめぐる相談10件となっています。昨年は労働相談を通じて、高知一般労連・土佐食支部や医労連・さめうらユニオン、自交総連・北部ユニオン、土電ハイヤー労組など4労組の結成につながりました。全体では県労連加盟労組に83人が新たに仲間入りを行いました。また、新規労組が団体交渉で職場要求を前進させる中で各職場内で当該労組への賛同と期待が集まり組合仲間も増えてきています。昨年、多数を占めた相談の傾向としてパワハラ行為を含むブラックな働き方、働かせ方が蔓延化していることが特徴的に見て取れます。一方、相談者自身が抱える問題で、使用者に対して不満や怒りを荒わにする場合、その解決方法として労働組合を作ったり個人加入し、団体交渉で要求することをためらう相談者も少なくなく問題解決に至らずこれとあいまって組合加入にもつながらない事例も少なくありませんでした。労働相談センターは相談者が抱える職場の悩み、この解決にむけた支援を行うにあたり労働組合作りと個人加盟を積極的に進めてきました。今年になつてからも労働組合を作りたので支援してほしいとの相談も寄せられています。また、個人加盟も前進しています。2016年春闘も本番を迎えました。春闘時期は、組織・組合員拡大のチャンスでもあり、すべての県労連加盟組織の春闘要求実現のたかひと協力・共同して組織拡大運動を進めていきます。



**クロスワードパズル**

カギを解き二重枠の文字を並べてできる言葉は何でしょう？

【タテのカギ】①冬の季節。——五輪 ②関節の対 ③能力には——がある ④凹〇

【ヨコのカギ】

①——にたけた ③〇 ⑤次の日 ⑦規格に合った ⑨〇〇は津

⑩〇〇 で待つ ⑫は投げられた ⑬いまだに—— ⑭テープで音楽を聞 ⑮三顧の〇〇 ⑯を尽くす ⑰海岸 ⑱を表す英語

⑩。〇〇レンズ ⑥俳句を刻んだ石碑 ⑧起死——のホームラン ⑪一フィートの1/2分の1 ⑫私の私の〇〇は左利き ⑬〇〇がタカを生む

**クロスワードパズル**

**図書券プレゼント**

《応募方法》

クロスワードの答えと、機関紙の感想、組合名、郵便番号、住所、氏名、年齢を記入の上、県労連書記局宛にお送り下さい。

抽選で3名様に図書カードをプレゼントします。(ハガキ、FAX、eメール)締め切りは3月7日までとなります。

**当選者の発表**

181号の答えは「ウルウドシ」でした。当選者は以下の方です。おめでとうございませう。

【当選者】

武市 智子 さん (全労働)

泉 るり子さん (県教組)

千光士 美佐 さん (自治労連)

※申し訳ありませんが、事務の都合上、図書カードの発送が遅れる場合がございますので、ご了承ください。

**おたよりの紹介**

○あけましておめでとうございます。本年も機関紙楽しみにしています。全労働 (T・T)

○改憲をめざす安倍首相に「待った！」をかけるため参議院選挙にむけた対策をしっかりとつことが大切だと思います。自治労連 (O・E)

○今年は2月が1日多い・・・その1日分を無駄にしないように有意義に働いて過ごそうと思います。自治労連 (M・R)

○1年の活動を振りかえりながら今年の計画をたてています。計画だおれにならぬよう日々精進！！自治労連 (S・M)

○夫も長男もよく磯釣りに出かけます。おかげでおいしい魚を食べられるので助かってます。・・・ただ・・・たまにはお肉も食べたいです。自治労連 (F・M)

○3学期に研究発表会はキツイ！バタバタした1月でした。(冬休みも) 県教組 (M・H)

**2000万署名の推進を  
学習討論集会のご案内**

【日程】2016年2月27日(土)13:30～  
【場所】高知城ホール2階  
【講師】全労連議長 小田川 義和 氏

**～県労連第30回中央委員会～**

【日程】2016年2月21日(日)10:00～  
【場所】高知城ホール4階  
【議題】2016年春闘方針  
2015年度中間決算報告、その他

**川柳コーナー**

春闘の土壌は職場タネ要求 (牧師)

結婚で醍醐味増したDAIGOかな (高橋理)

10周年香美市の栄光カミシめる (高橋理)

亡国の民は票なり幸国を売る (源朝光)

**時事川柳を募集中!**



詳しくは、県労連HPへ!  
「高知県労連」で検索できます。

